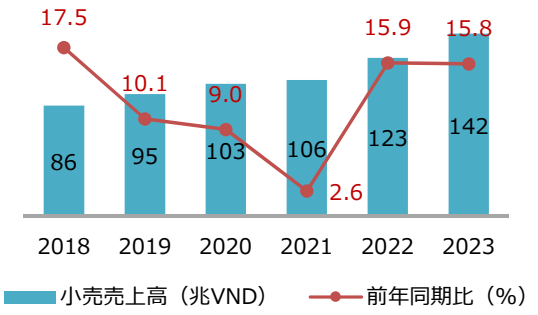
令和 5 年度外務省官民連携推進事業（農林水産物・食品輸出促進アドバイザー）
ベトナム食品の市場・消費者動向、輸入状況、パートナー候補プロフィール　月次レポート（2023 年 5 月分）

1.　市場概要

1.1　食品小売状況

ゴールデンウィークの影響もあり、2023 年 5 月の食品小売売上高は前年同期比 15.8%増加し、2023 年 1～5 月の同累計についても前年同期比 14.6%増加の約 705.4 兆 VND となった。

2023 年 5 月の食品小売売上高・成長率（兆 VND、%）



（資料：MOIT）

1.2　市場動向

需要喚起策についてホーチミン市では先月から継続しているが、今月からハノイ市でも実施された。例えば、割引率最大 50%のイベント「消費財・農産物のプロモーションデー」（2023 年 5 月 19～21 日の 3 日間）などが実施され、消費を促す機会となった。

このような価格安定策では①サプライヤー、②ディストリビューター、③国家機関（商工省、農業農村開発省など）の合意に基づいて価格が決定されるため、価格安定のみでなく、購買双方の利益の確保にも寄与している。

価格安定策の効果

消費者	多様な選択肢から安価に入手できる
販売業者	• 売上：消費者の必需品への偏りによる売上の持続的な減少に対処できる。需要喚起策に参加した企業によると、「多くの企業で販売量が 30～70%増加し、売上、顧客ともに大幅な増加を記録した」とのこと • マーケティング：市人民委員会から需要喚起策に参加した企業、商品、販売拠点の PR の支援を受けられる • 資本：市場安定化に向けた資本借入のために銀行や信用機関をビジネスに結び付けられる
市場全体	• コロナ禍等の予期せぬ事態での品薄状態を回避できる • インフレ[1]との戦い（購買力を高め、価格を安定化）

2.　価格

全体として、ゴールデンウィークと猛暑での需要の増加により、2023 年 5 月の「澱粉」、「食品」、「飲料」の CPI は前月に比べて上昇（それぞれ+0.29%、+0.22%、+0.13%）した。

主要品目の CPI（2023 年 5 月）

分類	品目	前月比
穀物	小麦粉	+0.48%
	麺類、インスタント粥	+0.53%
	パン	+0.37%
	トウモロコシ粉	+0.25%
	米	+0.29%
食品	牛乳、バター、チーズ	+0.31%
	紅茶、コーヒー、ココア	+0.20%
	果物（加工品を含む）	-1.94%
	菓子、ジャム、キャンディ	+0.13%
	牛肉	+0.04%
	家禽類	-0.17%
	水産物	-0.06%
	卵	-1.21%
	豚肉	+1.31%
	野菜	+0.87%
	砂糖	+0.76%
飲料	ジュース	+0.47%
	ビール	+0.21%
	ミネラルウォーター	+0.16%
	ソフトドリンク	+0.14%
	アルコール	+0.13%

（資料：GSO）

特に注目すべき点は以下の通り。

- **「肉」：**ゴールデンウィークの需要増加により、「豚肉」、「牛肉」の CPI が上昇（それぞれ+1.32%、+0.04%）。一方、「鶏肉」は消費の低迷により継続して下落（-0.17%）した。
- **「野菜」：**猛暑が供給量に影響し、「野菜」の CPI が上昇。
  - ✓ キャベツ：+3.53%
  - ✓ コールラビ：+3.26%
  - ✓ スパイス、ハーブ（黒胡椒、ローズマリーなど）：+2.93%
- **「砂糖」：**猛暑と世界的な価格の高騰に加え、オフシーズン（2 回の収穫時期の間）の供給の減少に備える動きが加速し、「砂糖」の CPI が上昇（+0.76%）。その結果、「砂糖」を必要とする製品（菓子、牛乳など）の価格も上昇。
- **「水産物」：**国内の養殖、漁獲が天候に恵まれ、また輸出状況の厳しさ（世界経済不況、高インフレによる欧米需要の減少）から在庫が増加し、「水産物」の CPI が若干下落（-0.06%）。
- **「果物」：**生産性が高く供給が豊富であることから、「果物（-1.94%）」の CPI が下落。
  - ✓ マンゴー：-9.66%
  - ✓ リンゴ：-0.1%
  - ✓ その他の生鮮果物：-1.41%

3.　輸入状況

[1] 総合インフレ率のみ低下し、コアインフレ率（価格変動の大きい食料、エネルギーなどを除いたインフレ率）は低下していないため、他の品目の価格は依然として高い

© 2023 B&Company Vietnam Co, Ltd.

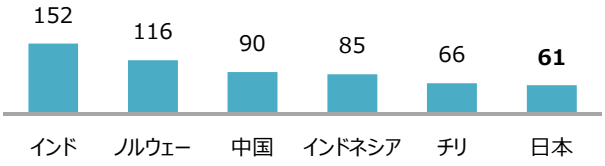
国内生産と貿易活動の促進支援措置（需要喚起策、価格安定策、FTA 活用など）により、2023 年 5 月の輸出入額は回復の兆しを見せ、前月比 1.9%増加したが、2023 年 1～5 月の累計輸出額は 12.3%減少の 1,352 億 USD、同輸入額は 18.4%減少の 1,256 億 USD であった。日本の農林水産物の輸入状況については以下で述べる。

3.1 水産物

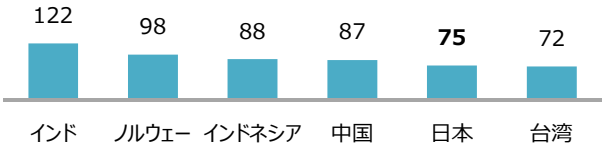
2023 年 1～5 月の「水産物」の累計輸入額は 6.5%増加したが、日本からの同輸入額は前年同期比 18%減少し、日本は輸入先国の 5 位から 6 位に後退した。競争が激化していると考えられる。

- インド、ノルウェーの輸入額は 20%以上増加した。
- 2022 年はトップ 6 圏外のチリが 2023 年は日本を抜いて 6 位。

2023 年 1～5 月の「水産物」の輸入額（百万 USD）



2022 年 1～5 月の「水産物」の輸入額（百万 USD）



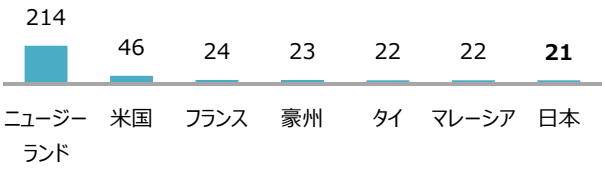
（資料：GDC）

3.2 牛乳・乳製品

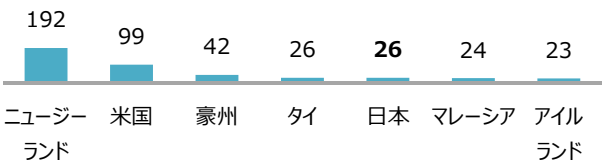
全体として輸入状況は 2022 年ほど芳しくないようだ。

- 2023 年 1～5 月の累計輸入額は前年同期比 8.9%減少の 5,183 億 USD。
- ニュージーランドを除く他の主要国は全て輸入額が減少し、日本は前年の 5 位から 7 位に後退した。

2023 年 1～5 月の「牛乳・乳製品」の輸入額（百万 USD）



2022 年 1～5 月の「牛乳・乳製品」の輸入額（百万 USD）



（資料：GDC）

実際に「牛乳・乳製品」の輸入額は 2022 年以来乱高下が続いているが、以下のような要因が考えられる。

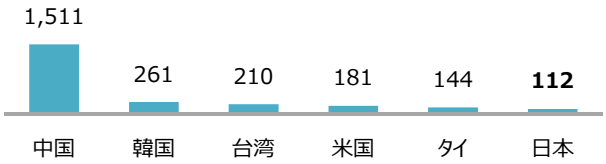
- インフレ圧力により「牛乳・乳製品」の価格が上昇（5 月 CPI 上昇率＋0.31%）し、国内消費が減少した。
  - ✓ 2022 年以降の「生乳[2]」の価格が上昇傾向[3]にある。
  - ✓ Vinamilk によると、2022 年 1～6 月の間に「生乳」の価格が 60～70%、種類によっては 100%上昇したようだ。
- また、輸出状況の厳しさから原材料の輸入が減少しているが、「牛乳・乳製品」[4]も他の産業と同様な状況にある。

3.3 繊維、衣料、皮革、靴の原材料

世界（特に欧米）での需要の減少[5]により、日本を含む多くの国[6]から加工貿易のためのベトナムへの「繊維、衣料、皮革、靴の原材料」の輸入額が減少した。ただし、上位 6 か国に変わりはない。

2023 年 1～5 月の「繊維等」の輸入額（百万 USD）

2022 年 1～5 月の「繊維等」の輸入額（百万 USD）



（資料：GDC）

3.4 その他：錦鯉

日本の農林水産省の発表によると、2023 年 1～4 月の錦鯉の対ベトナム累計輸出額は前年同期比 56.7%の大幅減少だった。

2022 年末以降、ベトナムの不動産市場は多くの困難に直面している。ベトナム不動産協会の統計によると、2023 年第 1 四半期の吸収率[7]はわずか 11%（取引 2,700 件以上相当）と前年同期比 50%以上減少した。それに伴い、造園市場も低迷している。ネットニュースによると、「園芸・観葉植物の施工会社の多くは 2023 年から注文が減少し、経営の不安な状態が続いている」という。また、ある造園業者によると、「昨年の今頃はすぐに完売していたが、今では買い手がほとんどいない。不動産市場が底を打ち、都市、ホテル、リゾート建設への投資が減少し、庭園の需要もなくなった」という。

近年、鯉の養殖が発展している。例えば、ハイフォン市 An Lao 地区は養鯉世帯が 40 戸（総面積 16.5ha）ある。ベトナムで養殖された鯉[8]は、購入者の幅広い嗜好

[2] 「生乳」は「牛乳・乳製品」の原材料。ベトナムの粉ミルクの原材料の 60%は輸入品
[3] 2022 年 10 月の推定：脱脂粉乳の輸入価格は西欧（+6.3%）、豪州（+0.7%）、南米（+35.3%）で上昇し、全脂粉乳は西欧（+15.8%）、南米（+25.6%）で上昇した
[4] 2022 年 1～9 月の推定：乳製品の輸出高は 1.75 億 USD と前年同期比 30.5%減少した
[5] 2023 年 1～5 月の「繊維等の原材料」の輸入額は 23.95 億 USD（前年同期比 18.5%減少）
[6] 「バッグ、財布、スーツケース、帽子、傘」の輸出額は 9.2%減少した（靴は 14.7%減少）
[7] 不動産市場で使用される指標。一定期間の販売住宅数を利用可能な住宅総数で割って算出する
[8] 純血種の日本の鯉、またはその後の代から繁殖された鯉

© 2023 B&Company Vietnam Co, Ltd.

に合わせてランク付け（低級、中級、高級など）される。また、ベトナム産は日本産に比べて飼育しやすく、病気になりにくいとされる。日本産は高価なため、繁殖用の純血種を求める業者か、国産では高い要件を満たさないと判断する少数のプロのバイヤーのみが購入しているようだ。さらに、寿命も比較的長いため、買い替えを決断するまで通常時間がかかる。

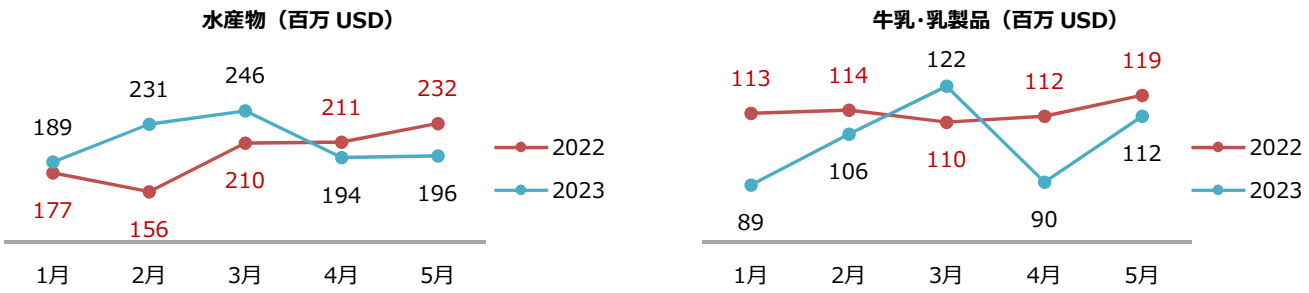
4. ビジネスパートナー候補

日本から食品を輸出する際のベトナムのパートナー候補を 2 社紹介する。いずれも健康食品に特化した企業である。

企業名	本社所在地	設立年	事業内容	主要製品	特徴	日本企業との協力関心度
Phan Nguyen Export Import and Trading Investment Co., Ltd.	671 Hoang Hoa Tham Street, Ba Dinh District, Hanoi	2015	輸入、卸売	オーガニック食品、飲料	ベトナム有機農業協会の会員	ベビー向け醤油に関心があるようだ（2023 年 6 月時点）
Adhome Thinh Vuong Co., Ltd.	59A Road Bank of Set River, Tran Dai Nghia Street, Hoang Mai District, Hanoi	2017	輸入、卸売、小売	機能性食品	日本のヘルスケアブランド（中日本カプセル、三粧化研など）の総代理店	コ健康食品、機能性食品（コラーゲンドリンクなど）に関心があるようだ（2023 年 6 月時点）

5. 付録

A) 主要品目の輸入額推移



（資料：GDC）

B) 調査方法

本レポートはベトナム統計総局（GSO）、ベトナム税関総局（GDC）、ベトナム農業農村開発省（MARD）、ベトナム商工省（MOIT）などのベトナム政府機関が発表している公式の情報源を基に分析している。また、VnEconomy、VnExpress、Hanoimoi などの信頼性の高いニュースソースからデスクリサーチを行い、小売業者などが報告している実情やその他の関連する情報を総合的に取りまとめている。ビジネスパートナー候補に関する情報は弊社企業データベースを活用している。

章	タイトル	情報源
1.1	食品小売状況	• ベトナム統計総局（GSO）：社会経済レポート（2023 年 5 月） • ベトナム商工省（MOIT）：工業生産・商業活動レポート（2023 年 5 月）
1.2	市場動向	• ニュースサイト：Hanoimoi
2	価格	• ベトナム統計総局（GSO）：消費者物価指数レポート（2023 年 5 月）
3	輸入状況	• ベトナム統計総局（GSO）：社会経済レポート（2023 年 5 月） • ベトナム商工省（MOIT）：工業生産・商業活動レポート（2023 年 5 月） • ベトナム税関総局（GDC）：主要食品輸入状況レポート（2023 年 5 月） • ニュースサイト：VnEconomy、Vietnam Agricultural News（小売店、輸入業者の詳細は明らかにされていない） • 簡易電話ヒアリング（水産分野の専門家）
4	ビジネスパートナー候補	• 弊社企業データベース（各企業 Web サイトを含む）

B&Company Vietnam Co., Ltd.
TEL: (+84) 28-3910-3913
E-mail: info@b-company.jp
Web: https://b-company.jp/

© 2023 B&Company Vietnam Co, Ltd.